



# Polaris news

【北高ニュース NO.202111】

## 「北海道研修旅行」 ウポポイ・ニセコ・小樽・むらかみ牧場 (2021.11.10~12)

### ■ 1 日目

#### ・ウポポイ（民族共生象徴空間）

朝 8 時にセントレアに行きました。飛行機から見る空はきれいで、見ていて楽しかったです。千歳空港からバスに乗って白老町にあるウポポイ（民族共生象徴空間）に行きました。到着してアイヌの民族料理を食べました。その時見たウポポイの景色には目を疑う美しさがありました。そのあと、アイヌの歴史と現在についてのお話を聞いてから、各自で見学しました。



#### ・キャリアプログラム講話

演題「世界を見て、感じて、出会った”SDGs とニセコ町”ー持続可能なまちづくりって？ー」

最初に講師の方の半生と人口増加、経済、CO<sub>2</sub>排出、貧困など様々な問題によってSDGsが注目されていることを聞きました。その後、ニセコ町がこれまでやってきたことはSDGsの考え方に近く、みんながまちに住み続けられるように取り組んでいることについて聞きました。ニセコではお互いに支えあい助け合って生活しています。例えば公共交通機関が少ないので高齢者や障がい者を車で送る「助け合い交通」というものがあります。最近では、自然が豊かであること、静かな環境であること、そしてニセコだから住みたいという人が増えているそうです。ニセコのまちづくりのように自然環境を守り、育み、社会、経済のことを考えながら、市民もまちづくりにかかわることが大切です。SDGs達成により住み続けられるまちづくりを目指して様々な取り組みをしているところがたくさんあります。行政に任せるだけでなく住民も参加し後者に受け継いでいくことが大切だと思いました。



## ■2日目

### •SDGs フィールドワーク① 環境

ニセコ町にある塚越産業に行きリサイクルについて学びました。ここでは普通の市町村とは違うニセコ町の細かい分別作業の三つの例を紹介します！

#### 1. ビン

- 主に茶色、白色、その他に手作業で分けられています。
- 作業する人の高齢化によって色の識別が難しくなっています。  
☆しっかり洗って干してから出しましょう！

#### 2. ペットボトル

- リサイクルによって服や卵のパックなどに変えられます。
- キャップやラベルを手作業で取っているため時間と労力を奪われます。

☆キャップとラベルをとってリサイクルに出しましょう！

#### 3. 生ごみ

- 別に溶ける袋に入れて堆肥センターで回収しています。

### •SDGs フィールドワーク② 林業

ニセコ町にある森林へ行き林業について学びました。夜に雨が降っていたので地面がぬかるんでいてとても歩きづらく長靴を借りて向かいました。砂利道でしたが業者の方が通るためと動物を出現させにくくするために道は整備されていました。進んでいくと鹿の足跡を見つけました。案内をしてくださった澤田佳代子さんからは葉っぱやきのこ、木の実についてたくさん学びました。また紅葉は木が冬に向けて栄養を蓄えるために栄養を幹に戻すので赤色や黄色になるなど豆知識も教わりました。道の途中で北海道の有名な木であるトドマツの油からできたアロマをかかぎせてもらいました。すっきりしていて良い匂いでした。山登りは坂がたくさんあって大変でしたが、自然への興味を少しでも持ってほしいという澤田さんの気持ちが伝わってきて、登りながら空気のきれいさや森林の壮大さを楽しめました。

### •小樽散策

一番最初に目に入った小樽運河は、とても広々していました。運河の前で写真を撮り、その後は各グループで班別行動をしました。最後にみんなで小樽運河を旅するクルーズ船に乗りました。小樽は昔、北海道の中心として栄えており、ニシン漁業を中心として海外との貿易を行っていたなど、ガイドの方が小樽の歴史について説明してくれましたが、あまりにも夜景が綺麗すぎて耳に入りませんでした。特に橋を渡って運河から海に出た時の開放感に気分が上がりました。



### ■3日目

#### ・SDGs フィールドワーク③ 酪農

むらかみ牧場で牛の搾乳とバター作りと餌やりを体験しお話を伺いました。実際に牛と触れ合ってみて、牛の体は思っていたよりも大きく、怖かったですが、牛は人間にとっても慣れているので、優しくかったです。また、子牛に餌やりをする体験もしました。大人の牛とは違って、臆病な子や食欲旺盛の子もいたりして、個性豊かで可愛かったです。次にバター作りを体験しました。ペットボトルに牛乳と生クリームを入れたものを振り続けて、無塩バターを作りました。最後に酪農家の方のお話を聞きました。内容は主にSDGsについてでした。日本での牛乳消費率は年々減っています。なぜならコロナの影響で学校給食がなくなったり買い物に行く人が減ったりしたからです。これらが原因で牛乳がたくさん余ってしまいどんどん値段が下がったことによって多くの酪農家が苦しんでいます。しかし、みんなが一日一杯牛乳を飲めば酪農家を救うことができます。私たちはこの話を聞いて、この問題をもっとたくさんの人に知ってもらいたいと思いました。酪農家の皆さんと写真を撮り、むらかみ牧場を後にし、昼過ぎに新千歳空港に到着しました。それから1時間半ほどお土産を買ったりご飯を食べたり各々好きなように時間を過ごしたあと、セントレアに向けて出発しました。飛行機の中ではほとんどの人が寝ており、約2時間のフライト時間はあっという間でした。



### ■生徒の感想より

- ・本当は海外に行く予定だったのに行けなくなって、正直悲しかったけど、初めて北海道に行けて、アイヌのことを学んだり、北海道でしかできない体験をしたりして、本当に楽しかったです。
- ・今回の研修旅行ではたくさんのことを学ぶことができました。北海道で得た知識をこれからの生活に活かしていきたい、周りの人にも伝えたいと思います。
- ・アイヌの伝統料理は具材が大きくて少し食べにくかったですが、味が濃くなく、それぞれの素材の味が生かされているようでとてもおいしかったです。
- ・この研修旅行で特に心に残ったのは、ニセコ町のSDGs未来都市としての取組みです。「豊かな自然環境を守り、育て、次世代に引き継いでいく」という市民の取組みに触れ、SDGsに対する理解を深めることができたように感じました。
- ・アイヌに関する歴史やニセコのまちづくり、北海道の酪農家の現状もすべてが初めて聞く話で新鮮でした。
- ・小樽は運河の印象が大きかったですが、他にもガラスやキャンドルのような工芸品やルタオやお寿司など食の面でも思った以上に小樽を満喫することができました。
- ・小樽は非常に寒かったですが、運河クルーズを楽しんだり、新鮮な海鮮を堪能したりと小樽の町を最高に満喫することができました。
- ・研修旅行では、普段見られない友達の良い一面や面白い一面を発見することができました。1年以上一緒にいるみんなの事を更に知ることができたことが一番嬉しかったです。